

まえがき

この本は、
“実践統計学の教科書”
としても
“実践統計学の自習書”
としても、使えるよう工夫されています。もちろん、
いろいろな分野の
“論文や報告書の作成”
のときにも、役立ちます。

ここで使用している統計処理のソフトは、「SPSS 学生版」です。
論文を書いたり、報告書を作ったり、実際に統計処理を行うときは、
SPSS のような統計解析用ソフトを使用します。

SPSS は高価ですが、この「SPSS 学生版」は、
“近未来の学者、研究者のために”
ということで、SPSS のソフトに比べ、何分の一という価格に設定され、
本屋さんでも簡単に購入できます。

しかも、「SPSS 学生版」の使用範囲は、
変数の個数 50、ケースの個数 1500
なので、実用上、ほとんど問題ありません。

実践統計学演習の講義は、
“解説 30 分”、“例題 30 分”、“演習 30 分”
の合計 90 分となっていますが、
この時間配分にこだわることなく
自由に設定してください。

大学の講義は
12 分遅く始まり
12 分早く終る??

SPSS の解説や操作に関しまして、SPSS の日本スタッフの牧野泰江さん、
西沢英子さん、シカゴスタッフの磯崎幸子さんのご協力を頂きました。
深く感謝いたします。



SPSS による統計処理は、大学生の石村友二郎君がおこないました。
感謝します。

最後に、この本を作成するにあたり、お世話になりました共立出版の
寿日出男さん、吉村修司さん、多くの編集部の方々に深く感謝いたします。

平成 18 年 11 月 25 日 吉日